

平成27年度「GKP広報大賞」エントリーシート

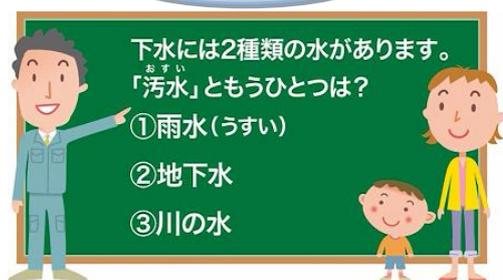
エントリーする団体名の名称 池田市上下水道部	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 経営企画課 八木孝朗
代表者氏名 池田市上下水道事業管理者 菊谷 通隆	TEL:072-752-1111 FAX:072-751-3852 E-mail:s-keiei@city.ikeda.osaka.jp
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 行政広報部門	事例名 池田市上下水道PR映像&パンフレット&広報紙
---------------	-------------------------------

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）

本市は10万人都市という決して大きくない自治体であるが、上下水道部では以前から広報活動が盛んであり、平成26年度には若手職員を中心とした広報委員会を設立し、更に広報活動へ力を注いでいるところである。その先駆けとも言える事業が、平成21年度に上下水道事業が合併したことを機に提案された、「既存の広報ツールの刷新」である。PR映像については新規作成、パンフレット及び広報紙については全面リニューアルをした。三者ともデザインを統一し（キャラクター、レイアウト等）、上・下水道が一体となっていることを表現しつつ、市民の皆様にビジュアル面から興味を持っていただきやすいよう工夫した。

市民向けの「上下水道モニター会議」や、市内全域の小学4年生を対象とした「浄水場・下水処理場見学会」等、さまざまな場面で上映・配布している。ホームページ上でも公開しており、有用な広報ツールとして今後さらなる認知・普及を目指していく。



エントリー事例の特徴（施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います）

近年、本市においても上下水道の広報活動が重要視される中、老若男女分け隔てなく広報を実現させることが課題の一つであった。その点を踏まえ、作成に関しては今までの形式張った広報内容を払拭するために、新たなキャラクターを立て、PR映像ではそのキャラクターの声に特長を持たせるなど、親しみやすいものになるよう心掛けた。

他方、広報ツールに統一感を持たせることでイメージ化を図り、認知度の向上を目指している。

付属資料の提出	<input checked="" type="radio"/> あり ・ なし（どちらかに○）
---------	--